

さぎぬまプロジェクトニュース

さぎぬまプロジェクトの概要

NO. **3**

現在、民間事業者が鷺沼駅前の再開発計画を進めており、バスターミナルや商業施設を含む駅に隣接するエリアに、商業や都市型住宅、文化・交流、子育て支援等の機能が導入され、駅前広場が広がる予定で、平成31年度の都市計画決定、平成33年度の工事着工を目指して計画が進められています。

本プロジェクトでは、鷺沼駅前に望まれる公共機能について、区役所・市民館・図書館の移転可能性も含め、平成30年度内の「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」策定に向けて多角的に検討を進めています。

今号では、4回連続で開催した意見交換会と第2回まちづくりフォーラムの結果などについてお知らせします。



再開発事業施行予定区域

「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針(案)」 市民説明会のお知らせ

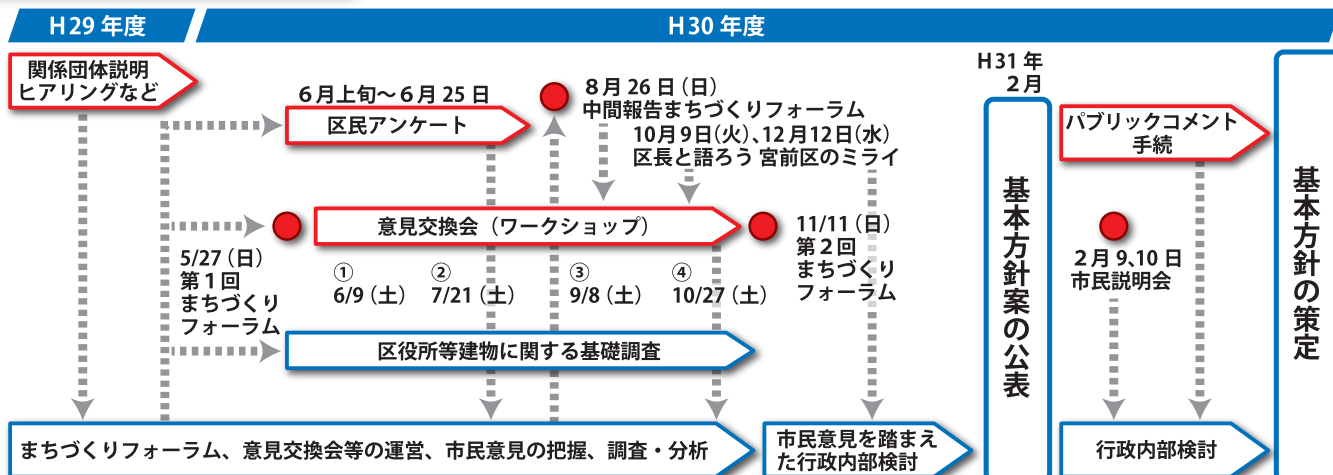
区役所・市民館・図書館の移転の有無を含めた鷺沼駅の公共機能に関する基本方針(案)について説明し、質疑応答を行います。

日時	場所	定員(先着)
2月9日(土) 13時半～15時半(13時開場)	有馬・野川生涯学習支援施設「アリーノ」集会室	150名程度
2月10日(日) 10時～12時(9時半開場)	向丘出張所会議室	100名程度
2月10日(日) 15時～17時(14時半開場)	宮前区役所 4階大会議室	150名程度

※各回の説明はすべて同じ内容です。

※各会場とも駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

検討スケジュール



上記スケジュールの他、平成31年度に行う都市計画決定手続きの中では、都市計画素案説明会や縦覧など、都市計画の内容について、市民意見を伺う場があります。

第4回意見交換会を開催しました。(10/27)

第3回に引き続き、AからFのグループごとに「まとめ」を作成し、発表を行いました。

その後、各参加者が、大切だと思う意見等にシールを貼る「シール投票」と全体での意見交換を行い、6月から4回にわたって行われた意見交換会を終了しました。

参加してくださった皆様、ありがとうございました。

■検討の進め方

参考事例の
施設見学、
「区長と語ろう
宮前区のミライ」
の報告

グループごとに
前回の振り返り
とまとめの作成

グループごとの
まとめの発表と
シール投票

全体での意見交換

■グループごとのまとめ

テーマ 鷺沼駅周辺のまちづくりと公共機能

A:多様性、多世代(Colors,Future! いろいろって、未来。)



主な意見

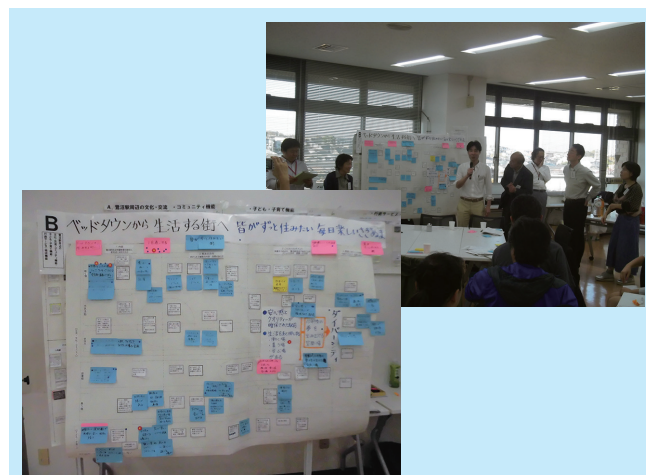
- 【広場】 多様性のある出会いのスペース／つながるスペース
- 【ホール】 音楽、芸術、交流できる場所／音楽などの発表や練習の場を利便性の高いところに⇨市民活動の活性化
- 【未来型図書館+ワーキングスペース】
多様なコラボレーション可能なフリーワーキングスペース／使い方でスペースを分ける
- 【相談窓口】 障害者や高齢者、外国の方が簡単に行ける場所（駅の近く）に行政サービス機能・相談機能を設置 など



B:ベッドタウンから生活するまちへ 皆がずっと住みたい 毎日楽しいさぎぬま

主な意見

- 【働く場】 多様な人々が使えるシェアワーキングスペース（空間・道具・コラボ）／一日過ごせる
- 【市民活動、多世代】 安心とクオリティが確保された駅前／生活を後押しする働く場・集う場・学ぶ場
- 【図書館、集う場】 調べる・読む・聴く・勉強する図書館／子どもが遊べて本がある／音響完備のホール／練習する場
- 【子ども、子育て】 駅前に保育の送迎ステーション／親の利便性、子どもの環境の確保 など



テーマ 宮前区全体のまちづくりと鷺沼駅周辺再編整備



C:子育てしたくなるまち 若い人が集まる 人を集める

主な意見

20、30年後のまちをイメージ／適材適所で機能を考える（鷺沼、現区役所）⇒働く場所（ITなどのベンチャー企業を誘致）と保育・子育て・介護の場所が近くにある、ゆったりとした時間を過ごせる、魅力発信（緑や農、文化が身近にある、歴史等）、情報収集できる、防災機能／相談窓口は駅近がよい／交通アクセスの充実 など

D:防災、コミュニケーション、教育、緑を大事にして ブランド化につなげる

主な意見

【災害対策】 災害に強いまちづくり／災害時を考慮した拠点配置、区役所は防災拠点として機能を果たせる場所に置く

【コミュニケーション】 跡地の適切なあり方検討／世代を超えて働き交流できる場所

【魅力向上】

若い人たちに選ばれるまち／鷺沼と宮前平の二つのヘソ／世代を超えて働き交流できる場所 など



テーマ 交通・アクセス

E:人にやさしく、まるく、近くなる さぎぬま

主な意見

鷺沼駅立体化／ユニバーサルデザイン＆エコな街／人に優しく機能的で安全な交通広場／ロータリーの見直し
障害者や高齢者の方に配慮、利用者に便利なタクシー乗り場／生活に便利な鷺沼

小田急・JR・東急の各路線につながるバス路線の新設／どこへも鷺沼（北部のハブ） など



テーマ 検討の進め方

F:限られた期間における効果的な情報発信と意見の吸い上げ、継続的な市民参加、その集約、結論のまとめに向けた努力

主な意見

市民参加の進め方の継続／事業者も一緒にワークショップをやってもらいたい／行政として100%知らせることを目指すべき など



ここに紹介しきれないほどたくさんのご意見をいただきました。
各グループのまとめは、市ホームページでご覧いただけます。

さぎぬまプロジェクト



第2回まちづくりフォーラムを開催しました。

11月11日(日)宮前区役所にて、第2回まちづくりフォーラムを開催しました。

当日は、約200名の方にご来場いただき、検討状況についてご説明しました。その後、意見票を用いて、テーマごとに意見を述べていただき、質問には担当から回答しました。



●テーマごとの意見票の内容(抜粋)

鷺沼駅周辺に望む公共機能

- ・地域生活拠点の機能の一つとして、公共機能があってほしい。
- ・種々相談機能や保健所的な機能を充実させてほしい。
- ・現区役所等は宮前平からの坂道が厳しい。この機会に鷺沼駅に集約してほしい。
- ・区役所は移転せず、行政サービスコーナーや期日前投票所などを充実してほしい。
- ・鷺沼駅周辺は民間事業者の協力によって立派に再開発することには賛成だが、公共施設を移転することに反対。

交通・アクセス

- ・バスターミナルを広くし、向丘や野川方面へのバス路線を整備してほしい。
- ・駐車スペースは十分に確保してほしい。
- ・区内各所から現区役所と鷺沼駅へのアクセスを調べた結果、現在でも鷺沼の方が行きやすいことがわかった。
- ・宮前平駅から現区役所へのシャトルバスの新設またはバス便の増加によりアクセスを強化。
- ・土日祝日の鷺沼駅発区役所行きのバス便を運行してほしい。
- ・鷺沼駅入口の動線をよく検討してほしい。

区全体のまちづくり

- ・再開発をきっかけにコミュニティ活動の活性化を図ってほしい。
- ・区役所等跡地に期待するもの。病院・学校・研究所。
- ・現在の庁舎の老朽化はもう限界では。今回の再開発をうまく利用し、より使いやすい区役所とすべき。
- ・公共機能を1ヶ所に限定せず鷺沼駅周辺と宮前平駅周辺の2ヶ所に整備してほしい。
- ・防災上、警察・消防がある現在地がよい。
- ・現区役所を有効に活用している方がいる。現地はそのまま残してほしい。防災上も好立地である。
- ・区役所を移転する理由が不十分。

基礎調査

- ・災害対策の検討を行った理由は。
- ・移転した場合、跡地はどうしようとしているのか。マンションは反対。
- ・現時点での基礎調査報告に対する評価は。
- ・区役所は残して市民館と図書館は移転するという案はいつ出てきたのか。
- ・現在の区役所とホールを鷺沼に移転した場合年間いくらかかるのか。
- ・再開発補助事業の中での床取得の費用と再開発事業への補助金の導入時の全体費用の関係が分かりにくい。

検討の進め方

- ・区役所等移転のメリット・デメリットをはっきり伝えてほしい。
- ・市民の声を多く反映させるため、来年2月に決めず、時間をかけて検討してほしい。
- ・区民の周知が進んでいない。周知期間をとるべき。
- ・第三者評価委員会の設置はないのか。
- ・鷺沼駅周辺の再開発と区役所等移転は別問題であり、分けて検討すべき。

その他

- ・現在、市民館ロビーで遊んだり広場でダンスをしたりしている子どもを大人が見守っている。このような環境は大切にしたい。
- ・「基本方針(案)」にはどのような内容が盛り込まれるのか。
- ・フォーラムは若い人が少ない。子どもたちが大人になっても住みやすい環境を残していきたい。
- ・「シェアワーキングスペース」の構想に魅力を感じた。サテライトや自宅での仕事が増えている現在、少し先の未来につながると期待する。

～フォーラム当日の質疑応答やいただいた意見票(全て)の内容は市ホームページに掲載しています。～